

Ⅲ. ロナルド・タカキ氏紹介

ロナルド・タカキ氏のプロフィールと著作

佐藤 円

今年度立教大学アメリカ研究所主催の公開講演会で講演をされたロナルド・タカキ (Ronald T. Takaki) 氏は、多文化主義 (Multiculturalism) 研究においては、全米で最も名の知れ渡った学者の一人である。

1939年ホノルル生まれの氏は、19世紀末に砂糖プランテーションで働くためにハワイへ渡ってきた移民を祖父に持つ日系三世である。氏は少年時代をオアフ島のパロロ溪谷で過ごしたが、近所には日系だけでなく、中国系、フィリピン系、ポルトガル系、プエルトリコ系の家族が住んでおり、アクセントや肌の色が異なる友人たちと、英語、日本語、ハワイ語が混じり合ったピジン・イングリッシュで会話しながら遊んでいたという。

1957年にイオラニ高校を卒業すると、氏はアメリカ本土に渡り、オハイオ州にあるウースター大学に入学した。この中西部にある白人学生ばかりの小さな大学で氏は「外国人学生」と見られ、教会が主催する留学生のための夕食会に招かれたりした。また同級生や指導教授までもが「アメリカに来て何年になるのか」、或いは「どこで英語を習ったのか」としばしば氏に尋ね、そのたび「私はアメリカで生まれたのだ」、「私の家族はもう三世代にわたってアメリカで暮らしている」と説明しなければならなかった。氏はそうした個人的な体験と、当時盛り上がりを見せていた公民権運動に触発されて、合衆国におけるマイノリティの問題に関心をもつようになった。

1961年にウースター大学を卒業すると、氏はカリフォルニア大学パークレイ校の大学院に進学し、アメリカ史の研究に従事した。氏が大学院に在学していた1964年には、パークレイ校において合衆国における学生運動の発端となったフリースピーチ運動が始まり、氏自身もそれに参加することを通して黒人史への関心を深めていき、1967年にはアフリカ奴隷貿易をテーマに博士論文を書き上げ、博士号を取得した。その後5年ほど氏はカリフォルニア大学ロサンゼルス校にお

いて黒人史を講じ、その間に黒人以外のマイノリティの歴史にも関心を広げ、1972年にバークレイ校にエスニック研究学部が開設されると母校に戻り、以来今日まで同学部アジア系アメリカ人学科の教授を務めている。また氏は、1987年にバークレイ校で白人学生の構成比が50パーセントを下回ったのを契機に始まったカリキュラムの見直し作業にも積極的に係わり、多文化社会アメリカの現実を反映した多様なエスニック集団の歴史や文化について学習できる講座「アメリカ諸文化論」の必修化に尽力した。

タカキ氏におけるマイノリティ研究から多文化主義への問題関心の広がり、その著述活動の軌跡をたどると一層明瞭になる。まず1971年に氏は、処女作 *A Pro-Slavery Crusade: The Agitation to Reopen the African Slave Trade* を、ついで1972年には、編著 *Violence in the Black Imagination: Essays and Documents* を刊行し、それまでの氏の黒人史に関する研究成果をまとめた。さらに1979年には、*Iron Cages: Race and Culture in Nineteenth-Century America* を発表して、19世紀アメリカにおける人種的・民族的偏見について、黒人、インディアン、メキシコ系、アジア系の体験を比較分析した。そして1985年には、*Pau Hana: Plantation Life and Labor in Hawaii* を発表して、氏の出身地であるハワイがいかにして現在のような人種・民族的に多様な多文化社会に発展してきたのか、その歴史的背景を明らかにした。

このハワイ史の研究において示された人種的・民族的多様性に対する関心と、多文化主義的視点に基づくアプローチの方法は、その後氏がより大きな対象を研究する際に、さらに鮮明に打ち出されていく。まず氏は1987年に、大学生用のテキストである編著 *From Different Shores: Perspectives on Race and Ethnicity in America* を刊行し、人種・民族問題について異なる立場をとる研究者の様々な議論を学生達に提示するとともに、現代のアメリカ社会が抱える多文化的状況（いわゆる“cultural wars”）についての論争に、学生も参加するよう呼びかけた。続いて1989年には、*Strangers from a Different Shores: A History of Asian Americans* を発表して、アジア系アメリカ人の歴史について、多文化主義に基づく叙述を試みた。ちなみにこの著作は、*New York Times Book Review* において、1989年度年間優良書の一つに選ばれている。さらに1993年には、*A Different Mirror: A History of Multicultural America* を発

表し、扱う対象を前著からさらに拡大して、先住民インディアン、アフリカ系、アイルランド系、メキシコ系、中国系、日系、ユダヤ系、ヒスパニック系を包含する「豊かで複雑な」多文化社会アメリカの歴史の全体像を構築してみせた。この著作は、従来の WASP 中心の一元的なアメリカ史に対する氏の反論の集大成であると同時に、多文化主義的視点に基づくアメリカ史叙述の可能性を世に問うものであった。*Publishers Weekly* 誌はこの著作を評して、「アメリカ史のすばらしい改訂版。多文化主義研究の古典となるにちがいない」と絶賛している。

またさらに氏は、第二次大戦終結 50 周年にあたる昨年、*Hiroshima: Why America Dropped the Atomic Bomb* を著し、スミソニアン協会の国立航空宇宙博物館における原爆展の内容をめぐる対立が再燃させた原爆投下の背景についての論争に、歴史家の立場から一石を投じた。この著作において氏は、人種的偏見が、いかに当時の世論や政治家の政策決定に影響を与えていたのかを明らかにしようと試みている。原爆の投下はアメリカ兵のみならず日本人の生命をも救ったと主張している保守派にとって、氏の議論はかなり挑発的なものと映ったに違いない。

最後に、タカキ氏と立教大学アメリカ研究所との交流についてであるが、それは今回が初めてのことでない。すでに 1986 年に研究所は、氏が『パウ・ハナ』の邦訳出版に際して来日された折、研究所主催の公開講演会に講師としてお招きしている。学外からも多くの研究者の来聴があったこの講演会において氏は、ハワイの歴史について、ご自身のルーツにも触れながら大変興味深いお話をされた。10 年あまりを経過した今回の講演では、氏のアメリカ史研究が、豊富な知識と幅広い視野のもと、さらに包括的なものへと発展してきていることに大変感銘を受けた。今後とも氏の研究からは目が離せないと感じたのは、筆者ばかりではなかったのではないだろうか。

(追記：拙文の執筆にあたっては、タカキ氏の著作、講演原稿、ならびに邦訳された『多文化社会アメリカの歴史』の「訳者あとがき」を参照した。)

ロナルド・タカキ氏の著作

- (1) *A Pro-Slavery Crusade: The Agitation to Reopen the African Slave Trade*, Free Press, 1971.
- (2) *Violence in the Black Imagination: Essays and Documents*, Putnam, 1972.
- (3) *Iron Cages: Race and Culture in Nineteenth-Century America*, Alfred A. Knopf, 1979.
- (4) *Pau Hana: Plantation Life and Labor in Hawaii*, University of Hawaii Press, 1985. (富田虎男, 白井洋子訳『パウ・ハナーハワイ移民の社会史』刀水書房, 1986年)
- (5) *From Different Shores: Perspectives on Race and Ethnicity in America*, Oxford University Press, 1987.
- (6) *Strangers from a Different Shore: A History of Asian Americans*, Little, Brown, 1989. (邦訳の刊行が予定されている。)
- (7) *A Different Mirror: A History of Multicultural America*, Little, Brown, 1993. (富田虎男監訳『多文化社会アメリカの歴史一別の鏡に映して』明石書店, 1995年)
- (8) *Hiroshima: Why America Dropped the Atomic Bomb*, Little, Brown, 1995. (山岡洋一訳『アメリカはなぜ日本に原爆を投下したのか』草思社, 1995年)

※これらの著作のうち, (3)は原著を, (4)は訳書を, (5), (6)は原著を, (7), (8)は原著と訳書の両方をアメリカ研究所は所蔵している。閲覧・貸出希望の方は, 研究所をお訪ね願いたい。